【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成18年6月15日(2006.6.15)

【公開番号】特開2000-307906(P2000-307906A)
【公開日】平成12年11月2日(2000.11.2)
【出願番号】特願平11-115108
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｎ　5/225　(2006.01)
Ｈ０４Ｎ　7/18　(2006.01)
Ａ６１Ｂ　1/00　(2006.01)
Ａ６１Ｂ　1/04　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｎ　5/225　Ｃ
Ｈ０４Ｎ　7/18　Ｍ
Ａ６１Ｂ　1/00　３００Ｐ
Ａ６１Ｂ　1/04　３７２

【手続補正書】
【提出日】平成18年4月24日(2006.4.24)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】 先端部に設けられ、内蔵物を収容する枠体と、この枠体に接続固定される連結部材とを具備する電子内視鏡において、
前記枠体は、内周面周方向に突出し、前記連結部材を接続固定するための固定手段を設けた凸部を有し、
前記凸部に前記内蔵物との干渉を防止する逃げ部を設けたことを特徴とする電子内視鏡。
【請求項２】前記逃げ部を、前記凸部及び前記枠体内周面の一部に設けたことを特徴とする請求項１記載の電子内視鏡。
【請求項３】前記内蔵物は、固体撮像素子又はこの固体撮像素子を備えた撮像ユニットであることを特徴とする請求項１に記載の電子内視鏡。
【請求項４】前記凸部の開口の内径寸法は、前記内蔵物の最大外径寸法より小さいことを特徴とする請求項３に記載の電子内視鏡。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
【課題を解決するための手段】本発明の電子内視鏡は、先端部に設けられ、内蔵物を収容する枠体と、この枠体に接続固定される連結部材とを具備する電子内視鏡であって、前記枠体は、内周面周方向に突出し、前記連結部材を接続固定するための固定手段を設けた凸部を有し、前記凸部に前記内蔵物との干渉を防止する逃げ部を設けている。